



こんにちは **保健師** です



便を提出するだけ！
大腸がん検診(無料)を受けよう！

大腸がん、増えています

大腸がんは、40～50歳代の中年層から増えており、女性の死因の第1位、男性の死因の第3位です。

大腸がんは早期発見・早期治療すれば、95%以上が治ります。早期発見のためには、がん検診を受けることが大切です。

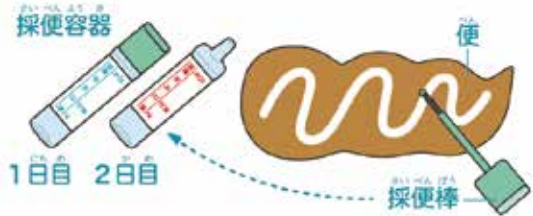
●部位別がん死亡数(2019年)

男性		女性
肺がん	1位	大腸がん
胃がん	2位	肺がん
大腸がん	3位	すい臓がん

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

大腸がん検診ってどんな検診？

- 対象 40歳以上全員
- 料金 無料
- 検査内容 便潜血検査(2日分の便を採って提出)
- 受診方法 集団検診／個別検診



その他のがん検診

※年齢は令和4年3月31日時点の年齢

胃バリウム
対象 40歳以上
料金 1,000円★

胃カメラ(2年に1回)
対象 50歳以上
料金 2,500円
(生活保護世帯は無料)

乳がん(2年に1回)
対象 35歳以上の女性
料金 49歳以下 1,200円★
50歳以上 1,000円★
内容 マンモグラフィ

肺がん
対象 40歳以上
料金 500円★
内容 胸部X線

前立腺がん
対象 50歳以上の男性
料金 1,500円
内容 血液 (PSA) 検査

子宮頸がん(2年に1回)
対象 20歳以上の女性
料金 500円★
内容 細胞診、視診

★印は、70歳以上(肺がん検診は65歳以上)・非課税世帯・生活保護世帯は無料

感染対策に努めながら検診を実施しています

がん検診の受診方法

- ①集団検診(カミーリヤや文化会館などで実施)
 - ・ハガキ、ホームページから要予約(大腸がん検診のみを希望の人は問い合わせください)
 - ・検診項目：胃バリウム、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん
 - ②個別検診(個別の医療機関を予約して受診)
 - ・検診項目：大腸がん、胃カメラのみ(※)
- ※胃カメラ検診は受診券が必要です。市へ事前に申請してください。

集団検診の日程や受け方など、詳しくは健康づくりパンフレットをご覧ください。ホームページからも見るができます。



問 健康推進課 ☎ (920) 8611